





【参考資料】「学習指導」のキーワード ～香川県教委 初任者研修資料から～

## ①「思考力」の育て方

### ●「考えること・思考」の分類

「記憶をたどる」：体験・考え方・知識などを思い出す etc.

「比較する」：同じところ／違いを明確にする 観点をはっきりして比べる etc.

「原因を探る」：原因と思われるものを多面的にあげる 因果を論理づける etc.

「構想を立てる」：テーマを明確にする 多面的想像 修正を重ねて練り上げる etc.

### ●学習と思考

学習は、一般的に二つのねらいをもつ。一つは、「その時間の学習内容を十分に理解すること」であり、もう一つは、「内容を理解していく過程で、見方や考え方、学び方を身につけること」である。後者は、ともすれば軽視されがちであるが、むしろ前者よりも重要である。

## ②望ましい学習指導案の条件

●学習指導要領のねらいを十分に研究した学習目標や学習内容であること

●児童生徒の意識に即した、学習指導過程が展開されていること

●教師の発問、助言や手だて等が柔軟にかつ計画的に組織されていること

●子どもの実態にあった活動が準備されていること

●子ども一人一人のよさを生かし、積極的な活動や思考を促すように

配慮がなされていること

●前時や次時の学習内容が明記され子どもの意識や学習の高まりが連続するもの 等

## ③発 問

●基本的性格：学習者の可能性を引き出し、それを伸ばし、発展させようとするために、学習に対して教師が出す「問い」である。従って、発問には答えが要求される。

### ●発問の分類

記憶発問（事実発問）～経験したこと、知っていること、覚えていることなどを問うもの。

思考発問（問題発問）～学習者が自分で推理し、判断していけるように、問題場面の原因を考えさせたり、選択させたりする問いをいう。

## ④助 言

●基本的性格：個人差の大きい各学習者に、個々の学習上のつまづきやポイントを理解させ、以降の主体的学習を援助するために教師が行なう「口添え」である。

●助言の分類：学習指導の展開で学習者の思考を方向づける場合によく使われる。

思考の枠を広げる助言、思考を限定する助言、思考を誘導する助言 etc.

## ⑤発言（考え）の取り上げ方（個の高まりと全体の高まりをめざして）

### ●発言を的確に評価する。

目的に合った考えであるか、考えの筋道に矛盾や飛躍はないか、具体性のある考えであるか、重要な要素が押さえられているか、根拠がしっかりしているか、等

### ●不完全な発言に対し、どこに戻って考えればよいかを助言する（フィードバック）

「どうしてその言葉を選んだのですか。」

「結論と理由を分けて説明してみてください。」 etc.

### ●発言者の考えを他の子どもたちの思考の材料にする（発言の教材化）

「〇〇さんは二つよいことを言いました。何と何でしょう。」

「〇〇さんが言っていることを簡単にいうとどうなるかな。」

「大事な考えですね。黒板に書いておきましょう。どう書けばいいかな。」

「〇〇さんからよい考えが出ていますが、だれか、どうしてそうなるか

説明してもらえますか。」

## ⑥板 書

### ●板書の役割

板書によって学習のめあてや方向をいつでも確認できる。

板書によって、思考・作業・練習などの仕方を視覚的に指示できる。

板書によって、学習の経過や結果を確認させることができる。

板書によって、学習を振り返り、評価しながら学習を進めることができる。

板書によって、学習内容の関連・構造を視覚的に示すことができる。

板書に、資料等を加えることによって、学習の素材を提示することができる。

板書は、学習の変化・深化に対応して、内容を加除することができ、学習を助けることができる。

板書は、筆順・グラフ・図などの書き方の順序や過程を示すことができ、理解を助けることができる。

板書は、子どもたちの意見・考え方などを記録して、全員で共有することができる。

### ●よい板書のために…

板書技能を深めるポイント：板書の量、文字の大きさ、字・図の書き方、チョークの使い方、板書のタイミング、板書と指導の連合、資料の併用 etc.

板書の生かし方：不完全な板書をして空白を考えさせる。

板書を消しながら学習の復習をする。 etc.

## 香川大学 教育実習 評価の観点（幼稚園版）

※附属幼稚園においては、より詳細な評価観点によって評価が行われます。

### 【教職への使命】

- (1) 教職の理解
  - 教職の意義・重要性（個人情報管理など含む）を理解し、使命感・責任感を自覚している。
  - 幼稚園教諭・保育者に求められる倫理観や道徳観を身に付けている。
- (2) 教職について学ぶ姿勢
  - 教育実習全般において、主体的にかつ謙虚に学ぶとする姿勢を身に付けている。
  - 子どもの状況を把握し、子どものよさや可能性を引き出すために、積極的に子どもと関わっている。

### 【対人能力】

- (3) コミュニケーション能力
  - 管理職をはじめとする教職員と十分なコミュニケーションをとることができる。
  - 明朗快活に子どもの状態に合わせたコミュニケーションをとることができる。（多様なアドバイス、適切なほめ方・叱り方など）
- (4) 協働性
  - 学校組織の一員（実習生間協働を含む）として、協力的態度で、多様な状況に対応できる。
  - 基本的な職務遂行能力を身に付けている。（時間の有効活用、期限内処理、要領・段取り、迅速さ・正確さ、など）
- (5) 社会人としての基本
  - 社会人また教師にふさわしい基本的マナー（服装・態度・言葉遣いや、礼儀作法、など）を身に付けている。

### 【子ども理解】

- (6) 子ども理解のための知識や技能
  - 子どもの成長や発達について深く理解している。
  - 温かい目をもって、子どもの姿を丁寧に観察し実態をとらえることができる。
- (7) 子どもへの公平かつ受容的対応
  - 子どもの言外の行動を読み取り、内面を理解しようとする姿勢を身に付けている。
  - 様々なタイプの子どもの公正に適応的に関わろうとする姿勢を身に付けている。

### 【指導力】

- (8) 学びの内容の研究
  - 幼稚園教育要領の内容を理解し、子どもの状況を踏まえた保育・指導の研究を遂行できる。
  - 子どもや学級に応じた望ましい経験や活動を選択し、効果的な保育・指導案を作成できる。
- (9) 保育・指導の技術の習得
  - 保育・指導案に沿って、子どもが遊び込める環境構成を整えることができる。
  - 子どもの姿に応じた援助や支援の方法など、基本的な指導技術を身に付けている。
- (10) 学びの基盤づくり
  - 子どもの基本的な生活習慣を培うための指導や支援について理解している。
  - 学級経営の重要性をふまえた多様な環境づくりについて理解している。

### 【探究心】

- (11) 授業・保育の実践の研究
  - 自己の授業・保育の実践を適切に振り返り、自己の指導力を高めようとする姿勢を身に付けている。
  - 他者の授業・保育の実践から効果的に学び、自己の指導力を高めようとする姿勢を身に付けている。
- (12) 専門的知識
  - 高い水準の専門知識と幅広い教養を備えている。
  - 専門知識を総合的な指導力へと高めようとする意欲がある。（園行事、他園実習等への活動参加）
  - 専門知識を教育実践に活用することができる。

## 香川大学 教育実習 評価の観点（小学校版）

※附属学校においては、より詳細な評価観点によって評価が行われます。

### 【教職への使命】

- (1) 教職の理解
  - 教職の意義・重要性（個人情報管理など含む）を理解し、使命感・責任感を自覚している。
  - 小学校教諭に求められる倫理観や道德観を身に付けている。
- (2) 教職について学ぶ姿勢
  - 教育実習全般において、主体的にかつ謙虚に学ぼうとする姿勢を身に付けている。
  - 子どもの状況を把握し、子どものよさや可能性を引き出すために、積極的に子どもと関わっている。

### 【対人能力】

- (3) コミュニケーション能力
  - 管理職をはじめとする教職員と十分なコミュニケーションをとることができる。
  - 豊かな教養を背景に、子どもと適切なコミュニケーションをとることができる。（多様なアドバイス、適切なほめ方・叱り方など）
- (4) 協働性
  - 学校組織の一員（実習生間協働を含む）として、協力的態度で、多様な状況に対応できる。
  - 基本的な職務遂行能力を身に付けている。（時間の有効活用、期限内処理、要領・段取り、迅速さ・正確さ、など）
- (5) 社会人としての基本
  - 社会人また教師にふさわしい基本的マナー（服装・態度・言葉遣いや、礼儀作法、など）を身に付けている。

### 【子ども理解】

- (6) 子ども理解のための知識や技能
  - 子どもの成長や発達について深く理解している。
  - 子どもの実態を把握する多様な方法を身に付けている。
- (7) 子どもへの公平かつ受容的対応
  - 子どもの言外の行動を読み取り、内面を理解しようとする姿勢を身に付けている。
  - 様々なタイプの子どものに適応した関わりを誠実にもとうとする姿勢を身に付けている。

### 【指導力】

- (8) 指導内容の研究
  - 学習指導要領の内容を理解し、子どもの状況を踏まえた教材研究を遂行できる。
  - 学習内容と方法を組み合わせて、効果的な学習指導案を作成できる。
- (9) 指導技術の習得
  - 適切な発問と応答、効果的な板書、個への支援の方法など、基本的な指導技術を身に付けている。
  - 学習指導案の流れにふさわしい学習の場や教材・教具を整えることができる。
- (10) 学習の基盤づくり
  - 学級経営の重要性を理解し、自ら規範的態度を子どもたちに示しながら、子どもたちを指導できる。
  - 生徒指導や教育相談、特別支援教育、学習環境づくりなどの基本的な内容を理解している。

### 【探究心】

- (11) 授業実践の研究
  - 自己の授業実践を適切に振り返り、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
  - 他者の授業実践から効果的に学び、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
- (12) 専門的知識
  - 高い水準の専門知識と幅広い教養を備えている。
  - 専門知識を深めようとする意欲が高い。
  - 専門知識を教育実践に活用することができる。

## 香川大学 教育実習 評価の観点（中学校版）

※附属学校においては、より詳細な評価観点によって評価が行われます。

### 【教職への使命】

- (1) 教職の理解
  - 教職の意義・重要性（個人情報管理など含む）を理解し、使命感・責任感を自覚している。
  - 中学校教諭に求められる倫理観や道徳観を身に付けている。
- (2) 教職について学ぶ姿勢
  - 教育実習全般において、主体的にかつ謙虚に学ぼうとする姿勢を身に付けている。
  - 子どもの状況を把握し、子どものよさや可能性を引き出すために、積極的に子どもと関わっている。

### 【対人能力】

- (3) コミュニケーション能力
  - 管理職をはじめとする教職員と十分なコミュニケーションをとることができる。
  - 豊かな包容力と判断力をもって、子どもと適切なコミュニケーションをとることができる。（多様なアドバイス、適切なほめ方・叱り方など）
- (4) 協働性
  - 学校組織の一員（実習生間協働を含む）として、協力的態度で、多様な状況に対応できる。
  - 基本的な職務遂行能力を身に付けている。（時間の有効活用、期限内処理、要領・段取り、迅速さ・正確さ、など）
- (5) 社会人としての基本
  - 社会人また教師にふさわしい基本的マナー（服装・態度・言葉遣いや、礼儀作法、など）を身に付けている。

### 【子ども理解】

- (6) 子ども理解のための知識や技能
  - 子どもの成長や発達について深く理解している。
  - 状況の中で課題を的確に掴むための観察力を身に付けている。
- (7) 子どもへの公平かつ受容的対応
  - 子どもの内面を理解し、信頼関係を築くための判断力を身に付けている。
  - 様々なタイプの子どもの適切な言動をもって関わろうとする姿勢を身に付けている。

### 【指導力】

- (8) 指導内容の研究
  - 学習指導要領の内容を理解し、子どもの状況を踏まえた教材研究を遂行できる。
  - 学習内容と方法を組み合わせて、効果的な学習指導案を作成できる。
- (9) 指導技術の習得
  - 適切な発問と応答、効果的な板書、個への支援の方法など、基本的な指導技術を身に付けている。
  - 学習指導案の流れにふさわしい学習の場や教材・教具を整えることができる。
- (10) 学習の基盤づくり
  - 学級経営の重要性を理解し、学活や清掃活動など多様な集団行動場で、自ら規範的態度を子どもたちに示しながら、子どもたちを指導できる。
  - 生徒指導や教育相談、特別支援教育、学習環境づくりなどの基本的な内容を理解している。

### 【探究心】

- (11) 授業実践の研究
  - 自己の授業実践を適切に振り返り、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
  - 他者の授業実践から効果的に学び、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
- (12) 専門的知識
  - 教科に関する高い水準の専門知識と幅広い教養を備えている。
  - 専門知識を深めようとする意欲が高い。
  - 専門知識を教育実践に活用することができる。

## 香川大学 教育実習 評価の観点（特別支援学校版）

※附属学校においては、より詳細な評価観点によって評価が行われます。

### 【教職への使命】

- (1) 教職の理解
  - 教職の意義・重要性（個人情報管理など含む）を理解し、使命感・責任感を自覚している。
  - 教師に求められる倫理観や道徳観を身に付けている。
- (2) 教職について学ぶ姿勢
  - 教育実習全般において、主体的にかつ謙虚に学ぼうとする姿勢を身に付けている。
  - 子どもの状況を把握し、子どものよさや可能性を引き出すために、積極的に子どもと関わっている。

### 【対人能力】

- (3) コミュニケーション能力
  - 管理職をはじめとする教職員と十分なコミュニケーションをとることができる。
  - 特別支援の知見を背景に、子どもと適切なコミュニケーションをとることができる。（多様なアドバイス、適切なほめ方・注意の与え方など）
- (4) 協働性
  - 学校組織の一員（実習生間協働を含む）として、協力的態度で、多様な状況に対応できる。
  - 基本的な職務遂行能力を身に付けている。（時間の有効活用、期限内処理、要領・段取り、迅速さ・正確さ、など）
- (5) 社会人としての基本
  - 社会人また教師にふさわしい基本的マナー（服装・態度・言葉遣いや、礼儀作法、など）を身に付けている。

### 【子ども理解】

- (6) 子ども理解のための知識や技能
  - 子どもの成長や発達について、特別支援の知見を含めて、深く理解している。
  - 一人ひとりの子どもの実態を把握し、的確な個人指導記録を記述できる。
- (7) 子どもへの公平かつ受容的対応
  - 子どもの言外の行動を読み取り、内面を理解しようとする姿勢を身に付けている。
  - 様々なタイプの子どもの誠実に適応的に関わろうとする姿勢を身に付けている。

### 【指導力】

- (8) 指導内容の研究
  - 学習指導要領の内容を理解し、子どもの状況を踏まえた教材研究を遂行できる。
  - 子どもにふさわしい題材、目標を選択し、効果的な学習指導案を作成できる。
- (9) 指導技術の習得
  - 意図の明確な課題提示、教材・教具の工夫と活用、適切な発問と応答、声の大きさや間合い、援助活動の細かな配慮、学習成果の確認など、基本的な指導技術を身に付けている。
  - T1・T2などの役割を理解し、子どもの実態に沿って指導できる。
- (10) 学習の基盤づくり
  - 子どもの実態に応じた子どもの管理（生活習慣づくり・学習態勢づくり、給食・清掃指導など）について理解している。
  - 子どもの実態にふさわしい学習環境の整えることができる。

### 【探究心】

- (11) 授業実践の研究
  - 自己の授業実践を適切に振り返り、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
  - 他者の授業実践から効果的に学び、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
- (12) 専門的知識
  - 高い水準の専門知識と幅広い教養を備えている。
  - 専門知識を深めようとする意欲が高い。
  - 専門知識を教育実践に活用することができる。



## 教育実習の評価基準

香川大学教育学部は、学士課程の資質保証の取り組みの一環として、平成23年5月に教育実習の評価の観点と評価指針を策定しました。学生諸君においては、大学における学び、教育実習期間中の学びの参考とし、「力のある教師」に成長する基盤を培ってほしいと願っています。

教育実習は、教員養成カリキュラムの中核となる授業です。大学における多様な学びを総合し、学校現場で様々な教育実践を行います。多様な関わりの中で、自らの実践を省察し、実践的指導力の礎を培っていきます。子どもたちの前に教師として立つにあたり、高い意欲と志、教育に関わる基本的な知識・理解を十分に身に付けていることが求められます。

教育実習の評価に関しては、教育実習におけるすべての活動を対象として、「教職への使命」「対人能力」「子ども理解」「指導力」「探究心」の大区分による評価の観点を採用します。

教育実習は無遅刻無欠席であることが求められます。教育実習期間中の出席日数が必要日数の4／5未満である学生には、単位認定することはできません。

また下記の4条件を単位認定のための最低到達基準とします。（シラバスを参照すること）

- ① 教師として最低限必要な倫理観や道徳観を身に付けている。
- ② 子どもとコミュニケーションをとることができる。
- ③ 実地指導に基づいて1時間の学習指導案（幼稚園：1つの活動指導案）を立案できる。
- ④ 1時間の授業（幼稚園：1つの活動の指導）（公開・採点）を遂行できる。

### 教育実習の評価指針 (評価基準の例示)

|          | レベル0<br>(教師としての資質能力の<br>基盤に欠けている)                                 | レベル1<br>(教師としての資質能力の<br>基盤を有している)                            | レベル2<br>(教師としての資質能力を<br>有している)                                                | レベル3<br>(教師としての優れた<br>資質能力を有している)                                      | レベル4<br>(教師としての非常に優れた<br>資質能力を有している)                                        |
|----------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 【教職への使命】 | 教職への使命感に欠け、<br>教師として不適切な言動が<br>目立つ。                               | 教職の重要性の理解・<br>教師としての最低限の<br>倫理観はあるが、言動に<br>不十分なところがある。       | 教職の重要性の理解・<br>教師としての倫理観を有し、<br>教職について学ぼうとする<br>姿勢がある。                         | 教職への高い使命感をもち、<br>教職について積極的に<br>学ぼうとしている。                               | 教職への高い使命感をもち、<br>積極的に学び、学校や<br>子どもの実態についての確に<br>把握しようとしている。                 |
| 【対人能力】   | 社会人として基本的なマナー<br>に欠け、職務の期限内処理<br>など最低限の仕事を行<br>うことができない。          | 社会人として基本的なマナー<br>を有し、職務の期限内処理<br>など最低限の仕事を行<br>うことができる。      | 管理職をはじめとした教職員<br>と協力的態度で関わろうと<br>するとともに、子どもたちと<br>コミュニケーションをとる<br>姿勢を身につけている。 | 管理職をはじめとした教職員<br>と協働できるとともに、<br>子どもたちと<br>コミュニケーションをとる<br>姿勢を身につけている。  | 管理職をはじめとした<br>教職員と協働できると<br>ともに、子どもたちと適切な<br>コミュニケーションをとる<br>ことができる。        |
| 【子ども理解】  | 子ども理解のための知識に<br>欠け、子どもの内面を<br>理解しようとし、<br>独断的・一方的な<br>子ども理解に終始する。 | 子ども理解のための知識を<br>有し、子どもの内面を<br>理解しようとする姿勢を<br>持っている。          | 子ども理解のための知識を<br>有し、子どもの内面を<br>理解し、誠実に関わろうする<br>姿勢を持っている。                      | 子ども理解のための知識を<br>有し、子どもの内面を<br>理解し、公正かつ誠実に<br>関わろうとしている。                | 子ども理解のための知識を<br>有し、子どもの内面を<br>理解し、的確な判断力をも<br>って、公正かつ誠実に<br>関わろうとしている。      |
| 【指導力】    | 学習指導要領など教育内容の<br>理解が不十分であり、十分な<br>指導案を作成できない。<br>一つの授業を遂行できない。    | 一つの授業の指導案を<br>作成でき、かつ授業を<br>遂行することができる。                      | 的確な教材研究に基づいて<br>指導案を作成でき、かつ<br>一つの授業を遂行すること<br>ができる。                          | 的確な指導案に基づいて<br>一つの授業を遂行できる。<br>また学級経営など多様な<br>場面で子どもを指導する<br>資質を有している。 | 的確な指導案に基づいて<br>効果的に一つの授業を遂行<br>できる。また学級経営など<br>多様な場面で子どもを指導<br>できる資質を有している。 |
| 【探究心】    | 自己の授業力を高めようと<br>する姿勢が見られない。                                       | 最低限の専門的知識と<br>教養を有している。<br>また自己の授業力を<br>高めようとする姿勢を<br>有している。 | 一般的なレベルの専門的知識<br>と教養を有している。<br>また自己の授業力を<br>高めようとする姿勢を<br>有している。              | 自己の授業力を高めようと<br>努力するとともに、自らの<br>有する専門知識と教養を<br>教育実践場面に活用できる。           | 自己の授業力を高めようと<br>努力するとともに、自らの<br>有する専門知識と教養を<br>多様な教育実践場面に<br>活用できる。         |

※附属学校園においてはさらに多様な基準により評価が行われます。